



↑温かい雰囲気の中、笑顔で歓迎するスタッフ。

全国で唯一の寺の駅 妙成寺とともにおもてなし

国宝化指定を目指す妙成寺の敷地内に、昨年3月14日の北陸新幹線開業に合わせてオープンした「寺の駅 寿福」。全国に道の駅は多く存在しますが「寺の駅」と名が付くのはここだけです。

店内ではそばやおにぎりなどの軽食を提供するほか、無農薬・無肥料の自然栽培のお米や地元特産品などの販売にも特化し、優しい女性スタッフが同寺を訪れた観光客を温かくもてなします。

オープンして1年3カ月。店頭には羽咋工業高校の生徒がデザインした新たな看板も掲げられました。店内の品数も大きく増え、羽咋市のPRや交流人口拡大にも一役買っています。妙成寺にお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。

声 (耳)

読者のみなさんからの声を紹介します。

6月1日号への感想

受 賞・表彰のみなさんおめでとうです。自信に満ちた表情に感服しました。「ちびっこ市民」では子どもたちのかわいい笑顔にやされます。これからどんな風に成長していくのか楽しみにしています。広報って温かいですね。(50代・女性)

受賞・表彰おめでとうございます。広報にはまちの人たちの温かい表情をたくさん載せていきたいと考えています。広報職員を見かけたら、ぜひ撮影にご協力ください。

日 曜日の朝には息子と「桑の実を食べに行こう」と会話をします。大きな口をあけて桑の実を食べる子どもの姿を見ると、体操服を

「どよめ色」に染めて母親に怒られたのを思い出します。これからも豊かな自然が続くことを祈ります。(40代・男性)

息子さんとの楽しそうな姿が浮かんできます。変わらぬ光景を維持するためにも、私たちが豊かな自然が続くようにしていきたいです。(40代・男性)

市 民陸上大会に息子が参加しました。いきいきと走る子どもたちを見て、スポーツの楽しさを再確認できました。近年は子どもものスポーツ離れがささやかれています。市民がふれあひながらスポーツを楽しめる大会が続いてほしいと思います。(40代・男性)

スポーツから学ぶことは多いかと思えます。これからもスポーツの楽しさを伝えていきましょう。

お便りをいただきありがとうございます。文章は紙面の都合上要約させていただくことがありますのでご了承ください。

プレゼント

皆さんの声を募集します。本紙への感想、身の回りであった出来事や日常生活で感じたことなどをお寄せください。「まちの声」で紹介しします。

※個別の回答はしません

応募・問い合わせ ハガキかメールに住所、氏名、性別、年齢、電話番号を明記して〒375-8601(住所不要)市役所秘書課広報広聴係「まちの声」応募係・hisyo@city.fujioka.gunma.jpへ

お便りをくれた人の中から山口鬼瓦店より鬼瓦コースターを10人にプレゼント。応募締切は7月15日(金)当日消印有効です。

※当選者の発表は10日前後で、引換券の発送をもってかえさせていただきます

瓦コースター2個プレゼント



水分を吸着しやすい素焼きの製品です。素朴さと味わい深さを堪能してください。

上野国分寺瓦を製造した瓦の里・藤岡で江戸時代から鬼瓦に携わってきた山口鬼瓦店。「現代の名工」である店主が魂をこめて瓦を彫ります。

山口鬼瓦店

藤岡市藤岡1866-7 ☎20579
営業時間/事前に連絡をいただければ対応します
プレゼントの提供者を募集しています。
秘書課広報広聴係(☎2208)までご連絡ください。



消費生活

ATMへの誘導に注意

Q 市役所の職員を名乗る人から「医療費の還付があります。還付手続きの期限は本日までです。還付金を受け取ることができるので、すぐに携帯電話を持ってATMに行ってください」と電話がありました。市の職員なら安心だと思ったのですが信用できますか。

A 国や県、市の職員がATMでの操作をお願いすることは絶対にありません。携帯電話でATMの操作方法を指示し、振り込みを誘導するのは還付金詐欺の典型的な手口です。「還付金がもらえるなら」と、相手の言うことをうのみにせず、いったん電話を切って相手の名乗った機関に事実関係を確認してください。あやしい電話を受けたら、警察署や消費生活センターに相談してください。

消費生活の相談は消費生活センター

☎☎兼用201133(来庁相談要予約)
相談時間 平日午前9時~午後4時

nostalgic あの頃



達磨釜での瓦焼き 年代：昭和35年頃
写真：市役所保存

↑かつて藤岡市内で盛んに行われていた達磨釜での瓦焼きの様子。昭和30年代には藤岡の瓦産業界は全盛期を迎えました。80数軒の窯元が作る瓦は、松のまきにいぶされ、銀灰色の美しい色と光沢が高く評価されていました。

昔懐かしい写真を募集しています。写真はデータを保存してお返しします。
問い合わせ 秘書課(☎2208)

編集後記

ま まだまだ元気な両親。とはいえ傘寿間近。実家は庭の木々の手入れが行き届かず、建物自体も築後40年以上で傷みが進んでいる。そろそろ今後の事が気になります。なるべく早くうちに家族会議かな。(高橋)

空 飛ぶ車、タイムトラベル、猫型のロボット…。「未来」を感じるアイテムです。未来の藤岡はどんな姿でしょうか。猫型のロボットに会うにはまだ時間がかかるかもしれませんが、明るい未来に期待です。(黒澤)

職 員の採用が始まります。数年前に自分もドキドキしながら受験したのを覚えています。就職には不安と期待があるかと思いますが、一緒にまちづくりをしていく熱意ある人の受験をお待ちしています。(上原)

祭 りの季節がやってきます。た。子どもの頃から毎年楽しみにしているイベント。山車の上で大鼓をたたく気分は最高です！みんなで藤岡の祭りを盛り上げましょう。(坂本)